

1. 件名：中部電力株式会社による浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請に関するヒアリング

2. 日時：令和5年10月5日（木）11時10分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

柚木主任技術研究調査官、吉居副主任技術研究調査官、仲宗根技術研究調査官、川崎技術参与

中部電力株式会社

廃棄物管理課 課長 他4名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

配付資料なし

参考

- ・ 中部電力(株)から浜岡原子力発電所1号原子炉施設及び2号原子炉施設において用いた資材に含まれる放射性物質の放射能濃度の測定及び評価方法の認可申請書を受理（令和5年8月31日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00012.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、内野規制庁の大嶋でございます。そうしましたら、
0:00:05	中部電力土肥知委員号炉2号炉の繰合せ認可申請に係る第19回審査会合を踏まえたラップアップの方を開始させていただきます。
0:00:17	私からいきますか。はい。
0:00:19	バックアップですけれども。
0:00:22	管理官かと思う。
0:00:23	からもちょっと話ありまして、
0:00:26	最後の締め方で事順番に説明していくっていう話があったんですけど。
0:00:31	もうちょっと一発勝負で説明してくれって言われました。
0:00:35	なので、スケジュール感として
0:00:40	2ヶ月後ぐらいの、一発勝負で全部返してもらってというぐらいのスケジュール感でやるようにと言われてました、言われましたんで。
0:00:50	そんな感じでいけそうですかね。今1個1個その関井の、どう返すのかっていうのを調整したいと思いますけど。
0:00:59	大体そういうイメージでしたんですけど、どうですか。
0:01:02	中部電力の河合です。審査会合1回ということであれば承知しました。で、ご質問はいくつか多岐にわたるところもありますので、できれば、事前にいくつかできたところからですね。
0:01:19	認識は我々理解したとは思っていますが回答の内容とかですね、それが正しいかどうかということも、1回の審査会合となるよりかはですね事前にヒアリング等で、もし認識合ってるかというところの機会をいただきましたら、
0:01:37	幸いだと考えております。
0:01:40	規制庁さん、まさにその通りでいいと思いますんで。
0:01:44	会合としては、2ヶ月後に全部返すっていう目標で、ヒアリングでできたところからとか、あと不明なところみたいのはちょっと順番に。
0:01:54	やっていきたいと思えますし、ちょっと足元でいうと思ったんですけど、多分、
0:02:01	うちも、
0:02:03	内容を理解しないとまとめられないんで、直して欲しいっていうことじゃないんですけど少し解説して欲しいとかっていうヒアリング、要はその、
0:02:13	多分これ、準備するのに時間かかるかかりますよねなので、1ヶ月間、作業を止めるのは勿体なくてちょっと週1ぐらいでヒアリングはやって、準備はしてもらう必要はないんですけどあの、
0:02:26	1個1個本文の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	表の、これ意味なんなんですかとか、高性能の出し方なのかとかもあまりよく知らなかったりするんでそこを1個1個レクチャーしてもらいたってヒアリングをしたいと思うので、
0:02:40	直して欲しいとかっていうのもまた杯出るかもしれないんですけど、それはなしに、その申請書、
0:02:47	その内容を教えてくださいってというのは、あの日関修一くらいでやりたいと思うので、その過程で準備ができたものはどンドンどンドン出してもらおうとか、
0:02:56	そういう形で、2ヶ月後の会合に向けて、
0:03:01	進めたいと思います。一つだけ。
0:03:06	発注電力のカワイです廃止をしました。具体的な申請書農をどこの場所を説明するかというのは、
0:03:16	最初からでよろしければ、我々も本文の13は基本的なところですので汚染の状況から、またその汚染の除去踏まえて各選択までは、一つの流れかと思ってますので、そういったパート単位で、
0:03:32	説明をさせていただく流れがいいかですね、或いはここという直接ご指摘、ご要望があるところを説明する、どちらでも我々対応できますので、ご指示いただければと思います。あります。
0:03:50	なんで追ってちょっと調整させてください。ある程度読んでるんですね。
0:03:54	もうここ何でしたっけとかっていう多分教えてもらおうとかそういうことでいいとは思いますがはい。よろしくお願いします。
0:04:01	1個1個いきますんで、問の1。
0:04:05	G福野健司副があるのかないのかっていう話があって、一応これうちもちょっと各館分。
0:04:16	核燃料監視部門が改廃自体確認するんで、クリアランス関係ですか、一応そこにも今ちょっと聞いてるんですね。
0:04:26	確認側。
0:04:28	その視点で、なんかどうなのかっていうのもちょっと全体一応聞いてるんですよ。
0:04:35	認可とってちょっと確認の時にこれだと困るみたいのが結構他電力ではあったらしくてですね。
0:04:41	この申請も、
0:04:43	確認のときに何かこの書きっぷりだと困ると、確認ができないっていうのがないかっていうのは、今聞いてます。プラスちょっとここ、
0:04:53	うちとしては前回と今回で19がないってというのは、何か明確にした方がいいんじゃないかっていうことを言って角谷を見てもらってその返事はないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	ちょっとどうするのかっていうのはすごく今調整中ですよという感じで。
0:05:13	これは何かどんな感じになりそうですかね。
0:05:17	さっき中部電力の川合です。まずですね対象物はしっかり明確に書くっていうのが当然原則だと思ってございまして、今回はすぐ先ほど少し説明したように、未対象物が四、五車軸とかですねそういう意味。
0:05:33	複数形と跨ってしまいますので、これぐらいの記載とですねさらにある程度わかりやすく、取り下げることは可能なんですけども余りにも膨大になってしまうということもあって、その対象物の名称として、
0:05:49	かなり切り分けということがですね、いいのかというところは、ちょっと悩んでいるところではあります、デイワンとしてはですね、記載としては名称としてはこの程度ではあるんですけども。
0:06:04	しっかり、それが混在しないとかですね、対象外ということをしっかりQMSの中で、識別できてそれが混乱しないような対応ができてるところをですね。
0:06:16	今の申請書の特に現場管理のところ、今対象物以外のものは除く対象物ものは収納するというような、そういうところで書き分けてるんですがもう少し明確に記載するというので、
0:06:34	切り分けができるん切り分けといいますか、混在しないような管理ができていますというところ、何、まずは、それをベースに考えたいなと思ってございますが。
0:06:48	直接こきアケイ記載というのがですね果たしていいのかってのはちょっと考えさせていただければと思ってます。はい。なんで、多分、何か方法が包含する記載するとすれば方針だけ。
0:07:01	実際やってることの方針だけが書いてもらって
0:07:10	それに従ってやってるんで熟しませんっていう形にして確認申請もそれでいい。それを毎回毎回やれやればいってというような気もするんですけどね。
0:07:23	確認申請する時に何か表か何かで出して、下で何か中福祉ないように、認可の何とかに基づいて何とか温度はしていると書いているくらいで、
0:07:35	確認、
0:07:37	加来八木もいいのかとか何か聞けばいいような気もするんで。
0:07:42	ただちょっとその、
0:07:44	切り分けの1案を作ってもらって、
0:07:47	各科にもちょっと聞いてみるとか、なんかそういうような気もしてますんで、多分、
0:07:54	ヒアリングであったりなんか表全部つけるとかって多分大木現実的で各部門も多分やめてくれるというはずって言うと思うんで、多分その方針みたいのを書いてもらって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:06	切り分けられてるんですってお約束してもらって。
0:08:10	確認申請書にもその旨書いてもらって。
0:08:13	こういう切り分けでいいのか。
0:08:16	ていうのを、各款のクリアをとって、
0:08:19	ていうことかなと今思っ
0:08:22	て思ってますけどね。はい。
0:08:24	イメージやってますか。
0:08:26	中部営業部の河合です。認識は合っていますが方針方針というところがですね、対象物の選定の方針ということでよろしいでしょうか。
0:08:37	それとも選定した後にですねしっかりQMSで管理して、申請書自体には書いてごさいませんが我々記録として、対象物リストだったりですね。
0:08:49	そういうところがありますので、それで管理しているということを記載するという、何かそういうことが実際にやってることベースを、の書けばいいんじゃないすかね。
0:09:01	実際に記録とか何か分けてるだけ実際、実際にやってること。
0:09:05	実際にどう切り分けるつもりなのか。
0:09:09	ていうのを多分書きゃいいはずなんで多分もう実態に即して書くっていう。
0:09:15	ことなんだと思いますけどね。
0:09:18	谷内病院の川井ですありがとうございます現場ではしっかり識別管理してごさいますので、そこをしっかりと変えてですね一度資料にまとめて説明させていただきたいと思います。
0:09:32	次と猪野に
0:09:36	へん、前回と今回の変更の整理の説明書もあればと思うんですけど、結局、1.6トン問題はどう、どうするんですか。
0:09:45	中部電力の川合です 1.6トン。
0:09:49	を上限としたいと考えております。で、結局耐荷重の問題がありますので、1.6トンから実質的に
0:09:59	を上げること自体が現場ではできませんので、ちょっと我々の考え方が少し甘かったとこありますが審査基準にはもちろん 10トン以下ってのは条件ですが本当の申請書上のですね。
0:10:13	実態に応じた上限として 1.6トンをやすではなく、以下というような記載にしたいというふうに考えています。あります。これは補正する等ですね。
0:10:25	1.6 倍ですそうその通りです。6 時 10 分の扱いがなかなか回答といいますか我々 1.6 以上考えておりませんので、
0:10:35	そこは電力と以下としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:39	はい。
0:10:42	あとはこれは何かいろいろ言いましたけど、
0:10:45	なぜ直して欲しいっていうよりか申請書散らばってる説明を、
0:10:50	多分してもらえればいいはずなので、
0:10:54	何か直して欲しいっていう話ってよりかは申請上でやっ。
0:10:59	書いてるものを、
0:11:02	わかりやすく集約して、簡潔に説明してもらおうかっていう話なんで、そんなに困らないと思ったんですけどそう大丈夫すか。
0:11:12	中部電力の河井です。基本的にはおっしゃっていただいたように、審査基準に従っていうことをしっかり、再度確認して、整理するということだと理解してございます。
0:11:25	ただ、一つだけですね不確かさのところについては、前回のですね、認可も踏まえながらということもあつつつですね。
0:11:37	審査基準の個別の 95%上限値を求めるといようなところがですね、まずは一致してるといようなところで、まず説明させていただきたいと思いますが、そこは審査でご確認いただいでですね。
0:11:52	どうすべきなのかというところは、少し相談したいところもあるところであります。
0:12:01	わかりました。これちょっと、関野土肥なんですけど。
0:12:07	鳥井チームが入ってないっていう話は、ちょっと管理課とも相談したんですけどやっぱり 33 にしてくれてってことでしたね。
0:12:16	これはちょっと計算し直さないといけないんですけど。
0:12:19	大丈夫ですか。
0:12:22	中部営業部の河合です。トリチウムというものがですね 33 種類の中の、えっとです。ね他の CP と FP というものはですね、大矢元素と一緒にです。そこから精製できる、放射化計算で対応可能でですね。
0:12:39	CP と FP を合算の分析できるんですけども、トリチウム自体がですね、他の核種との、
0:12:47	ある主訴相関みたいなものが、現実的にはなくてですね。
0:12:52	実際組成比取る時には分析でやる場合は、いずれも検出したデータでですね、終わるとトリチウムと取ることができれば、そういうある程度の設定ができるん。
0:13:05	できるんですけども、今回の場合はですね今回といいますか他のものでも一緒なんですけれども、矢部青柳さんという方下できる生成過程がトリチウムと他のし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:20	各種で違うということも踏まえるとですね、ちょっと現実的には、33 種類並べるっていうことが、かなりちょっと特殊な条件をつけないとできないということがありました、
0:13:33	今考えているのはですね、実際のトリチウムってのはどこ測っても検出限界値未満ですが、どこがコバルト 60 が、測定して検出されてるデータもありますので、
0:13:46	本来は比率取ることにより技術的な意味がないというふうには考えるんですけども、少しコバルトとトリチウムの比率をとってみてですね。
0:13:56	それを保守的に設定した場合で、コバルトとのトリチウムの比率からですね。
0:14:03	33 種類のを選択した結果ですね、選択した評価対象核種の評価結果は変わらないというような、
0:14:14	説明はちょっとできると思ってるんですけども、全部並べるということがですね、かなりちょっと条件つきになってしまいますので、
0:14:25	そこは 1 同やはり今、ちょっと基準、口頭でしゃべってしまってますので、資料にまとめてですね、なかなか設定が難しいというところの説明をさせていただいたほうがいいのかなとただもちろん、33 種類でやるべきということはもちろんその通りだと思ってますので。
0:14:45	増加対象核種の戦略結果に影響ないというようなところと、審査基準を直接は確かに順次ではないんですけども。
0:14:56	選択結果として問題ないというようなですね、ちょっと今ご要望と合っていないと思ってるんですけども、そういう回答にならざるをえないのかなという、ちょっと今考えております。
0:15:09	わかりました。
0:15:11	ありましたけど、
0:15:15	どうですか。
0:15:19	ちょっと資料を見て調整だけ。
0:15:24	33 でやろうとしたらもう何か条件つきなんですね、条件付で、
0:15:31	技術的にはちょっと正しくないかもしれないってことだと、すごい何か保守的に、
0:15:36	して、
0:15:38	何か注釈とか入れて、
0:15:40	何か条件変えて、
0:15:42	それで 33 にして計算やっちゃうとか。
0:15:48	いう落ちなのかそれとも併記するかどっちかですね。
0:15:53	今回の無定期でも入れといてプラス。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:58	参事さんで書いたパターン。
0:16:00	32 前作にするのか 32。
0:16:04	技術的にはこっちの方がいいんでもへ本市で、
0:16:08	多分今の審査基準が追いついてないって話であればね。
0:16:12	審査基準が追いついてないんじゃないですか追いついてないんだとすると、32 基行きで、仮に 33 って書いた時にはちょっとその、
0:16:22	技術的には少し条件つきになるんだけどっていうのでいろんな、
0:16:27	ことを書いた上で参事さんのパターン書くとか、
0:16:31	ということなのかなあ。
0:16:36	注力のカワイですその通りだと考えています。CPとFP自体は
0:16:45	関連性を持たせることはコバルトとセシウムの比率でできまして、それでできるのが 32 核種しかできないということで、こういうCPとAPを分けて、放射化計算で 33 種類の 32 種類並べると。
0:17:00	いうやり方をした場合トリチウムだけ、少し取り残されるような状態でももちろんこれがプラントが変わってですね、そういうトリチウムと他の核種が相関があるというような、
0:17:13	BWRとかPではないと思うんですけどもそういうものがあれば、1 回で計算できるという、そういう計算条件次第では、できる可能性はあるとは思いますが。
0:17:26	ちょっと我々の今のやり方からすると、少し難しいので、今ご指摘、大岩瀬谷様なトリチウムと、小針当間ある条件下で、
0:17:40	比率を設定したのもをもって、1 度 33 週に並べてみるということでは可能です。そういうものを一度見ていただいて、
0:17:51	しっかり、この場合はトリチウムとコバルトの関係性といいますか、どういうデータで、その比率をとったのかというところを、説明としてしっかり言えれば、
0:18:04	は問題ないといいますか、ちょっと条件つきといいますか、ある条件で保守的な条件ではあり、あり、あるものの、三十三所に並ぶというようなことで少し一度資料を作ってみます。
0:18:19	審査基準ってこれによらない高校ってあるんですけど。あるやつよね。
0:18:25	ちょっとカワサキですけど。
0:18:28	33 ヶ月から選ぶのと、32 各地から選べる同等ですっていう説明にはできないんじゃないかな。
0:18:36	中部電力の河合です前回の。
0:18:39	認可し、今認可いただいているものですね、今おっしゃっていただいたように、33 と 32 でやった場合に、32 でやった方が、比率が高くな安全側になると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	いう結果がありますのでそれはできるんですけども、今回の場合はやはり審査基準規則市だけが変わってですね、あと市も選ばないことになりましたので、
0:19:06	分母がですね、トリアの 32 と 33 で違うんですけども、選ぶ分子側にトリチウムが必ず入ってこないで、
0:19:15	定性的にですね組織的に、こちらの方が高めになるというような、前回やれたことが今回ちょっとやれないという状況になっていますので、
0:19:26	先ほど申し上げた通り、ある条件下での設定ってということになると思ってます。カワサキですけど、例えば、前回も同じだったんじゃないですか。
0:19:38	トリチウム取り中も入れた 33 核種からやるのと、
0:19:44	国中部除いて 32 核種から選ぶのは、同等か安全側。
0:19:51	ていう説明。
0:19:53	があったような気がするんですけど、ちょっと違いました。
0:19:57	はい。そうですね前はありました。要は選択する側にですね、重要 10 核種か或いは重要 9 核種かトリチウム除いた 9 核種かというのが、
0:20:10	選択側の方でして、分母になるものですね、33 か 32 かというところで、前回は重要 10 核種で考え方あったものですから、
0:20:22	そういう比較はできたんですけども、今回は群馬、またこれも資料で一度説明した方がいいとは思いますが。るん棒は 33 と 32 で違うんですが、分子は一緒になるんです。選んでるものが、
0:20:37	トリチウム絶対に選ぶことがないわけですから、そういうことも踏まえると、前が前できたことが今回ちょっと条件が違うということになっておりますので、
0:20:51	前回は何で問題なかったかっていうところも踏まえながらですね、今回は少し違うというところは、少しちょっと資料を準備した方が、
0:21:01	認識があるのかなと思いましたが、少しちょっと整理させてください。前は河内福間ですかね、各種なんかに行く人の説明だと、分子に入ってるからって説明でも、
0:21:15	知念層なんかそこが多分、
0:21:19	何だ、分子には当然トリチウム入らなくなるっていうのはわかっちゃうんだけど、分母ん演者の分母
0:21:26	ヨシイ今日にもトリチウムが入ってないと。
0:21:31	駄目ですよ。
0:21:33	違う。前は重要 10 核種の 1 人チームだけ、現金の方で何か決めてたんですよ。169 核種が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:42	取り除いたね。19 核種が 2 万進藤なりますかって評価したんですか。いえ、ちょっとわからないんで覚えてない。ちょっとお待ちください。
0:21:52	飛ばしますか、そういう感じなんですけど木場との比率でどうこう言うのであればですね、今、木幡小牧が、いわゆる目標検出下限値じゃないですか。うん。
0:22:04	多分それと比較すると、
0:22:08	何か比率としては出るのかなという気はします。
0:22:12	距離中学校から持ってくるかっていうのは、ちょっとあるかもしれないんですけど。
0:22:17	中越の甲斐です。そういった検出限界値の方から設定するという事も考えられますし、我々
0:22:27	汚染の状況の調査の方で、コバルト 60 の分析データはたくさん持っていますので、その濃淡によってですね、トリチウムの検出限界値は、大体同じ程度なんですけど、
0:22:40	コバルトの程度によってですね、コバルトトリチウム比率が変わってしまいますので、どこがコバルト 60 の値を使うか、どのトリチウムの濃度を使うかによってですね、
0:22:53	比率の値がもう大きく変わってしまいますので、その設定の仕方が少し特殊になるというふうに考えてまして、さすがに検出限界値と検出限界値比率とること自体はあまり意味がないような気はしております、一方と理事賄うは、
0:23:13	どのデータでも検出しませんので、ワード 60 のこの線のデータをどうつどのようなデータを使うかによって、
0:23:22	ある種条件つきという意味合いだ。
0:23:25	言ったわけですねその、少し
0:23:29	抜け雄コバルト 6 次が高いものを使うのか低いものを使うのかで、当然違いますので、その辺をデータセットのご相談かなというふうに思ってます。
0:23:47	杉オオシマさんと、
0:23:52	店長の大島です。辻井の私からのコメントについてなんですけれども。
0:23:59	まずは、
0:24:00	前回と今回で、対象設備の汚染の違いを説明していただきたいというところなんですけれども、ただ、とは言ってもその、
0:24:11	かなり数が多いと思いますので、そこはちょっとどういったその示し方をやるのかっていうのはちょっと検討していただきたいと思いますけれども。
0:24:22	それで何かアイデアというか、簡単そうになりますか。
0:24:28	中部営業部の甲斐です。前回の認可申請書に記載させていただいた汚染の調査はですね、浜岡 1 号機の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:38	複数、滝野保全系統のですね、調査結果を使って、その中に含まれるということ、形でですね、前回の認可申請対象物はその調査結果の中に含まれると。
0:24:51	系統からですね、そういうところからそのデータを使っていたものですので、そのデータはそのまま今回もですね、系統としてですね、含まれるものですので、
0:25:03	その汚染状況調査の結果はそのまま採用できると、つまり違いがあるわけではないというふうに考えてございます。そういったところからですね
0:25:15	二次的な汚染の組成比も前回の数字と同じ結果を使ってるというのはそういうところがある種根拠になりますので、そういったは前回のターをしっかりと節水されてるものありますので、それを
0:25:33	今回の申請書にもつけるということだと思ってます。違いというのはですね、特に放射化汚染とかですと、対象物の位置が変わってますので、
0:25:44	より原子炉に近づいている、今回に例えばサプレッション・チェンバとかは近いのですから、そういった意味合いで、汚染の状況の調査の評価点は当然違うんですけれども。
0:25:57	前回のデータも使えるところは使えるというところで、二次的な汚染は大体一緒なんですか放射光線は、少し場所の位置関係上、今回追加したデータも踏まえると、間違いといえますか今回の方は、
0:26:14	改めてそこを整理したものですので、合わせてちょっと説明させていただければ、北海道になるのかなとは今考えてます。
0:26:25	はい。オオシマでした
0:26:28	今ご説明いただいた内容で
0:26:31	良いかと思えます。
0:26:35	何か前回の申請書ですと、
0:26:41	なんすかね対象物5のところ、甲陽線区分でしたとか、主な汚染源として、主蒸気が当たってましたとか、空気に当たってましたとか、
0:26:51	排液目だけしてましたとか何かそういった情報があったんですけれども、こういった情報も今回、全く汚染源が、
0:27:02	前回でシマですみたいなそういった説明。
0:27:05	をしていただけるってことでよろしいですかね。
0:27:09	承知しましたその通りに、汚染源はしっかり書きたいと考えております。わかりました。
0:27:17	先ほど放射化汚染がちょっと若干前回よりも今回の線路の距離として近くなったっていうご説明もあってそれは多分

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:29	放射化汚染のサンプルの選定根拠として、サプレッションチャンバーのところ、追加したんだと何かそう認識しておりますので、
0:27:40	そこは私の二つ目の質問になりますけれども、あと全体としてのそのサンプルの選定根拠、その点も含めてですね、まとめていただきたいなと思いますので、
0:27:51	よろしくお願いいたします。
0:27:55	中電若井です。承知しております。
0:27:58	アプリ選定項目全部でしょ。
0:28:02	簡単に言うと選定してるやつはもう全部何か理由があるはずだから。
0:28:09	やっぱり表、表か何か紙に説明してくれていうことで、麻生です。青島なんですけど、放射カーの話とか日赤の汚染の話とか、
0:28:22	だけではなくてですね、この申請書に登場してくる、その対象のサンプルの選定根拠を、すべからくちょっと非常にまとめて、
0:28:32	まとめ資料としてご説明いただきたいということなんですけどその点はいかがでしょうか。
0:28:37	中部電力の河合です放射化も二次も、また代表サンプルとしてるところはですね、しっかり館選定の考え方を資料にまとめまして、説明するというので承知しました。
0:28:50	はい。よろしくお願いいたします。あと6番、土肥辻野と岩瀬の審査基準等の対比表は、これも管理課が相談したんですけども。
0:29:02	もう前回認可で終わってるからOKですっていう書き方はやっぱり申請書としては良くないって、いや、言われましたんで、ちょっとその、
0:29:13	前回認可申請で説明されてるそのロジックはいいんですよ。そのロジックは、もし審査基準に適合しなければさちょっと作業して欲しいんですけど、前回で終わってますっていうのはそ、そのロジックは覆しませんけど。
0:29:30	申請書、企画室としては、明解駄目であるって言われちゃいましたので、その、
0:29:37	審査基準を意識してもらって、
0:29:41	何ていうんすかね、ある程度前回認可引用していいと思うんですよその、改めてまたおんなじものをコピー&ペーストしてデータも含めてやるかっていうとそれはそれで、
0:29:52	そこまでやる必要ないと思うんですけど、エッセンスとして、ちゃんとこの人、審査基準で書いてる項目。
0:30:02	ちゃんと前回認可でやってるとかってちょっと何ですか。前回認可や、前回認可で具体的に何をやってるのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	ていうのをちゃんと書いても審査基準 1 個 1 個、ありますよね何かその計算コードがどうなの、
0:30:22	不確実性がどうだこうだがありますんでその項目 1 個 1 個に対して、
0:30:27	ちゃんと読めるように、書き物として読めるようにしなければならぬと言われましたので、対応してもらいたいです。大丈夫ですか。
0:30:38	中部電力の川井です。廃止をしております。全般論として拝承でして、放射化汚染の熱放射計算の方ですね。
0:30:48	あそこはちょっと少しご相談したいと思ってまして、もちろん前回認可申請書の中で、しっかり計算条件を定めておりますので、計算コード等も、
0:31:00	問題ないと考えております。で、そちらももちろんし、お示しすることはまずさせていただきますいなと思っておりますが、審査基準に、項目に該当するかどうかというのを、
0:31:12	少しご相談したくてですね、またちょっと資料をもって説明した方がいいとは思っておりますが、放射化計算をするところのその計算コードだったり計算条件というところは、当然ございまして、
0:31:25	今回の申請書の中で、それはどのような評価を使ってるかという、金属材質で放射化計算した場合に、コバルト 60 が主要な核種であるかどうかという判断、その評価 2、
0:31:39	扱っているものですので、それは審査基準上の放射化計算を行うところっていうところに該当するというふうに我々考えておるので、そのようにか記載したものです。一方で 4 号機の、
0:31:54	低圧車時空のところでもですね、実際やらせていただいた時には、いろんな候補生のデータから、コバルト 60 が主要放射化汚染の計作法車庫線の、
0:32:05	主な各社コバルト 60 であることは、ある程度
0:32:11	ある種手術というちょっと言い過ぎかと思いますがある程度今までの調査結果からわかっていると。
0:32:17	いう言い方をして、そのあとはもう小原と 60 の汚染の程度の絶対値の測定に入っております、その場合は放射化計算というものが、
0:32:27	使っているか使っていないかっていうのが、ちょっと悩ましいところがあったんですが今回は、小針主要な核種を特定する手法として放射化計算使っている場合は、
0:32:39	野瀬放射計算を行うところの審査基準に適合させるべきだということで、今私理解しているんですけども、その認識は合っておりますかね。
0:32:52	合ってます。はい、じゃ、それは問題ございません。極端に言うともう審査基準来国定にコピーをちょっと肉付けするとか、そういう感じじゃないですよ。
0:33:05	それが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:13	今の現状だったら、何かあんまりくどくなるんですか。結局どこなんですかね。
0:33:19	中部電力の河合です放射化計算の条件というものを、前回申請書に図表でまとめてございますので、そこに放射化計算のコードだ放射計算コードだったりですね。
0:33:34	照射履歴から、どのように照射条件を設定したかというところの一連の条件が載っておりますので、末を明示すればですね、ご回答になるのではないかというふうに今考えています。
0:33:49	それはどうするんですかもう1回申請書に再掲するんですか。
0:33:55	中部電力の河合です放射化汚染はもちろん二次的な補正もそうですが、計算、評価に使ったところの放射計算については、放射化汚染の計算条件と二次的な汚染の、
0:34:08	計算条件を、まず表なり何かで、
0:34:12	付けるということだと、わかります。はい。
0:34:27	なんかあんまり理解追いつかなかった。
0:34:31	わかりました。
0:34:35	次の問行きましょう。なるほど。はい。はい。
0:34:39	藤。
0:34:41	コバルト 60 の検出限界値のところは、
0:34:44	大丈夫ですよ。
0:34:47	承知しておりますが今計算中です。
0:34:52	それを踏まえて見直す必要があれば、資料としてしっかり提出したいと思います。ちょっと計算すると、
0:35:00	宮地 1037 年。
0:35:02	何と何か、コンマ 9 位、旧価値なんかちょっと微妙だなあと思ったんで、ちょっと検討してみてください。
0:35:12	はい承知しました。
0:35:14	次のPEEKBのところは前回も何か面談の時に言ったんですが、これを使っているんだということを、何か時系列的に何か説明してもらえると。
0:35:26	多分わかりやすいなと思いました。
0:35:29	中部電力の河合です前回いただいた、審査ヒアリングでのコメントとして廃止をしておりますので、今準備してございます。はい。
0:35:40	次はサーベイメーターの検出下限値。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:44	これは今回審査基借金でありますけれども、審査基準で不確かさを含めてどうのこうのっていう話になってるので、ゲームは検出結果限界値出してるんですけど、サーベイメーターも、
0:35:55	何かそれ。
0:35:57	検討して、
0:35:59	することって可能ですよね。
0:36:04	中部電力の甲斐です。
0:36:06	不確かさを考慮した場合はですね。
0:36:09	測定条件にかなり影響してくるかと思ってございまして、
0:36:15	まず、今の、前回の認可いただいた、測定条件とですね法律だったり、操作速度だったり、そういったものは変わってございませんが、
0:36:29	そういったものでですね 0.8 未満をしっかりと図れるんだというようなところですね、説明できないかなというふうに考えてございまして、今河崎がおっしゃってるようなですね。
0:36:44	不確かさ考慮をするというよりかは、我々の検出測定条件に書いてあるような検出限界値で、運用として 0.8 未満を、
0:36:55	確認できてるといような、以前御示し、前回の認可のときに少し審査資料で出させていただいたんですが、0. はちいのですね汚染を、
0:37:07	実際、汚染源をゲルマで特定した鮮魚を作りまして、そのブラインドの測定試験みたいなことや、相殺試験をやって、我々現場の放管員がですね、しっかりその汚染を、
0:37:20	特定できると。それが 100%確認できるというところをもってですね、今の測定条件で、問題ないというふうなちょっと説明をさせていただきます。
0:37:32	今回もできればですね、そういう考え方で資料を準備したいというふうなちょっと考えてございまして、
0:37:41	そこはもしかしたら人シキイと、ずれてるところなのかもしれないなどはちょっと考えてございしますが、そこはちょっといかがでしょうか。申請書ではね。
0:37:51	検出下限ちいのですね村長が変わったときには、
0:37:55	同じ選手検出下限値でやります、そういう装置を使いますっていうふうな書いてあるんですよ。
0:38:02	だからこう装置を使えますっていうことであればいいんですけど、装置が変わったときにも同じことをやるという、
0:38:09	説明が多分あればいいような気がするんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:14	中部電力の河合です承知しました特に公立のところがですね、実際の効率よりもちょっと安全側に設定してあるところを設定して、その効率を満たすものを現場で使ってございますので、
0:38:28	ちょっとそのあたりですね他の圏域の場合どうだということ踏まえて、前回ヒアリングでも、表面汚染密度測定条件とですね、測定の仕方について、コメントいただいたと思いますので、
0:38:43	合わせて資料で回答させていただければと思ってます。
0:38:47	ですからそっちが変わった時には、要するに同じ試験をやりますってことですね。
0:38:57	装置が変わった場合でも、背測定条件で設定した効率満たしてるものであれば、試験は有効だというふうに考えてます。そうですか。
0:39:08	きちんとそういう説明をしていただければと思います。
0:39:13	承知しました。
0:39:16	以上です。
0:39:19	柚木さん。はい。
0:39:25	規制庁柚木です。不確かさのことで、十番の。
0:39:32	ことについて供出をさせていただきましたけど、基本的にはですね、審査基準のところにも不確かさの考え方についてとしてとってる文章、ISOIECガイド 98-3 というのが、
0:39:48	考え方の基本でありますのでそれに則っていくと、それとの違いについて妥当性を説明していただくと、そういうふうに、
0:40:00	考えてございますけども、そのような理解でよろしいですね。
0:40:06	中部電力の河合です。施設しました。まず今、我々が申請書に記載したような内容ですね、ヒアリングでもコメント梅木サカイいただいたようなですね。
0:40:19	評価、最終的な評価値に対してどのような不確かさのパラメーターがあるんだというところを明確にした上で、それぞれの不確かさをどのように考慮してるんだというところでその設定の仕方、仕方がですね、
0:40:32	考え方の基本とはどのように違ってるのかというところは、しっかり整理して説明したいと思ってます。はい。
0:40:39	よろしく願います。以上です。
0:40:43	この不確かさの説明と取って不確かさってこれ、
0:40:48	先行電力とは何か違うところあるんですか。
0:40:53	中部電力の河合です例えばですね我々ちょっと詳細に承知してるところではないんですが、今まさに審査中で、もう

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:06	前回審査会合されたような、中国電力さん、或いは関西電力さんのような、
0:41:14	測定方法特に換算係数みたいなものはですね、おそらく何か構成された指定の大きさのもの、容器のものに封入して測定するだったり、或いはベタ付けして測定するだったりして、安全側に評価されてるものだと思う。
0:41:33	出ますが、換算係数のその汚染の分布の考え方がですね、おそらく、我々は
0:41:41	保守的放射能が高めになるようなところから少しずつ、分布を考えているものですがおそらく他の電力さんは、ある種均一な線源を作ることで、
0:41:53	そういったところは考慮されてないというか均一十分だというような考え方をされていますので、もしかすると換算係数作り込みは全然違うものだというふうに、
0:42:05	ちょっと確定見たことでちょっと申し訳ないんですがおそらく、後、作り方は全然違うものだと思うってます。
0:42:13	完全ケースのつくり方多分違いますよね。なぜ全然違うか非常に遅いだと思いませんけど。
0:42:22	わかりました。規制庁仲宗根です。私からの質問は先ほど弊社のシマの方と熟めますので、
0:42:33	放射カー汚染の場合と、今回私が質問させていただいた、二次的な汚染の状況の選定。
0:42:41	その根拠をまとめていただければなというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。
0:42:47	はい承知しております放射光清日赤の瀬野代表サンプルの考え方についてしっかり記載して説明したいと思います。
0:42:55	はい。規制庁の楠田ですよろしくお願いします。以上です。
0:43:03	規制庁の吉井です。私の方から質問しました上限値使って、核種選定しているところなんですけどこれもさっき言った通りなんですけれども、
0:43:14	摂取とカーボンで上限値使うのは、セシウムとかも評価対象入れようとするのでこれはこれで別にいいと思うんですけれども。
0:43:23	青春とか傍系見ちゃったがゆえに代表の核種が見えなくなっちゃったんじゃないかという疑問がどうしても出ちゃうので、そこのご説明をお願いします。多分、
0:43:33	普通とかの平均値で全部やって、それで、カーボンと水摂取だけでいけますというのがあるのかなと思ったんですけれども今回上限に使われているので、
0:43:45	これ極端なんかじゃ下限値だったらどうなんですかとかちょっとそういうややこしい話になるかもしんないんですけれども、ちょっとその辺すいませんご説明よろしくお願ひします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:55	中部電力の河合です廃止をしましたんで、コバルトとセシウムの比率をとってですね、 を合算してございますので、コバルトとセシウムの比率をですね、上限値をとった場合は、
0:44:09	すべからく もですね、同じような計算値が反映されてございますので、保守的なといいますか高めな評価になってございます。カーボンについても、 で使ってございますので、
0:44:24	コバルトカーボンだとカーボンだけが高めという以下はですね、その他の とか みたいなものですね。
0:44:35	高見になってるところで、必ずしも分析値で設定したものだけが、保守的になってるところかですね、他のものも、全般的にですね、保守的な利用、各種選択として幅広くに選択できるような、
0:44:50	考え方をしてございます。ただ先ほど審査会合で説明させていただいたように、第4番目の核種がどの程度なのかと、それがどれぐらいになるのかってところは、
0:45:01	しっかり説明したいと思っております。
0:45:04	はい。ちょっと規制庁ヨシイです。すいません今のお話のところ
0:45:09	例えばその130、セシウムの上限値をとった%他の のやつとかも、高めに条件作ってっていう話だったと思うんですけども、それって、の不確かさによりますよねとか標準偏差によりますよね。
0:45:25	例えば施主で高目にとっても、他の核種で、不確かさが大きいのか小さいかちょっと大小MARK-Iですけども、ただ、全部同じだったら今の話は成り立つと思うんですけども。
0:45:37	多分違いますよね。
0:45:40	とか、中部営業部の河合です。セシウムと他のFP核種については、ある種計算、放射化計算でやっているものでして。
0:45:52	分析で設定したものであればですねおっしゃる通りかなと考えてございまして、それに対してCPDお母さんするときに、
0:46:04	小針俊審議を使うと、その他のFP核種もですね、摂取元他のAPというのは計算値で紐づいてるものですから、
0:46:14	あその不確かさしないと言われますと、確かにその通りかなと思ってございしますが、それぞれFPを分析値で設定しているものではありませんので、分析の不確かさはコバルト摂取日で十分入れてるんじゃないかなというふうには考えてございませぬ。
0:46:33	33ヶ月分の評価対象核種になるじゃないですか。
0:46:44	ですからそれぞれの核種を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:47	ずっとあの日、いわゆる非安全側になっちゃいます。
0:46:51	核種選定の前では、式をねちゃんと展開してみたらいいと思うんですけど。
0:46:57	多分今のご説明だと多分駄目だと思います。
0:47:02	中米久野カワイです。まずですね考え方として、資料で説明させていただきたいんですけども、まず汚染の状況の調査の結果を見るとですね。
0:47:13	過去の審査実績でもそうですけれども、コバルト 60 が主要核種であること自体はですね、過去の調査結果や分析結果からわかっているものです。
0:47:24	そこからですね、評価に用いる放射性物質を選択する際には、全体に対してコバルト 60 を高めに見るとですね。
0:47:34	それはよりコバルト 60 が支配率を沖島大きくしますので、他の核種を選択しづらくなるということもあって、全体主要な各社コバルト 60 であることが自明で、第一番に選ばれることも、
0:47:48	間違いございませんので、その他の核種を大きく見ると言う一律に大きくすると言ってるわけではございませんでして、コバルトに対して低めになるような、
0:47:59	すべてコバルトに対して他の核種が大きくなるようにすることで、コバルトは当然選ぶものの、その次の核種が選ばれやすくなるような、
0:48:10	設定を、分析して、しているということです。
0:48:14	ちょっとこれで説明回答になってるかっていうのは、まだわからんとこありますが、そういったことでよろしいでしょうか。多分式で仕切れ展開すると。
0:48:27	何か違うような気がするんですけど。
0:48:29	ちょっと考えてみてください。
0:48:32	はい。承知しました。
0:48:37	はい。
0:48:43	これで、
0:48:46	今後の作業として、まずちょっとコメントリストを作ってください。
0:48:52	コメントリストを作ってもらって、
0:48:55	それで管理をしていきましょうと
0:48:57	なので、
0:48:59	多分返せるものから返せて話になると思うんで。
0:49:02	次のヒアリングまでにコメントリストを作ってもらって、
0:49:07	ちょっと順番順番じゃなくてちょっとできたものからやっていくっていうので、少しずつ、
0:49:12	やっていきましょう。目標はやっぱり 2 ヶ月後で一発勝負なので、スケジュール感としてはあんまりもう時間ないですからということです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:23	ヒアリングはちょっと週 1 ぐらいのペースでちょっと事務的に後でちょっとはめさせ ていただきたいと思いますので、
0:49:30	2 時間ぐらいの枠で、
0:49:32	やりたいと思います。
0:49:35	で、そんな時にはちょっと何ですかね。
0:49:38	少しわかんないところとかは、
0:49:41	準備しておくので、ちょっと教えてくださいとか、そういうことを言いたいと思います のでよろしくします。
0:49:47	中部営業部からです廃止をしました、まずコメントリストを今回の審査会合網をプ ラス事前にいただいたヒアリングでいただいたコメントもですね、反映できるところ 反映してですね。
0:49:59	しっかり説明したいと思います。その中では、審査会合でいただいたものとヒアリ ングってのは一応メーカー分別できるようにはしておきますが一応すべてですね。
0:50:11	整理したいと思っております。またヒアリングも手術ということで廃止をしまして、ぜ ひよろしく願いいたします。
0:50:18	はい。
0:50:21	鬼頭島です。全体として、中部電力さんから何か確認事項ございますか。
0:50:31	すいません中部電力のヤブシタでございます。審査会合ではですねこちらの通信 環境悪くてですねちょっと不鮮明だ画像になったところ大変お詫び申し上げます。
0:50:43	以後、そういうことないように社内の通信関係を確認したいと思います。それから 審査会合の最後、私規制庁様のお考えとちょっと違うような今後の進め方発言し てしまいましたそれも合わせておい申し上げます。
0:51:00	真田様からいただいた、今後の進め方で、我々もぜひ進めたいというふうに思っ ておりますので、引き続きよろしく申し上げます。以上です。
0:51:11	はい、ありがとうございます。では本日のヒアリングこれで終了したいと思います。 どうもありがとうございました。
0:51:17	ありがとうございましたありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。